

火遊びによる火災を 防止しましょう

子供の火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ、拡大する要因にもなります。

平成30年中の火遊びによる火災は、460件発生しています。

そのうち、「ライター」によるものが237件(51.5%)で最も多く、次いで「マッチ」によるものが105件(22.8%)、「火のついた紙・棒」によるものが34件(7.4%)、「その他のたばことマッチ」によるものが84件(18.3%)となっています。

火遊びによる火災をなくすためにも、大人が子供たちに対して火災の恐ろしさや正しい火の取扱い方法を教える必要があります。

子供の火遊びによる火災が起こらないよう、子供たちと火災の恐ろしさ・火の取扱いについて話し合うようにしましょう。

110

消防署より

■お問い合わせ
下川消防署 ☎・☆4-2119

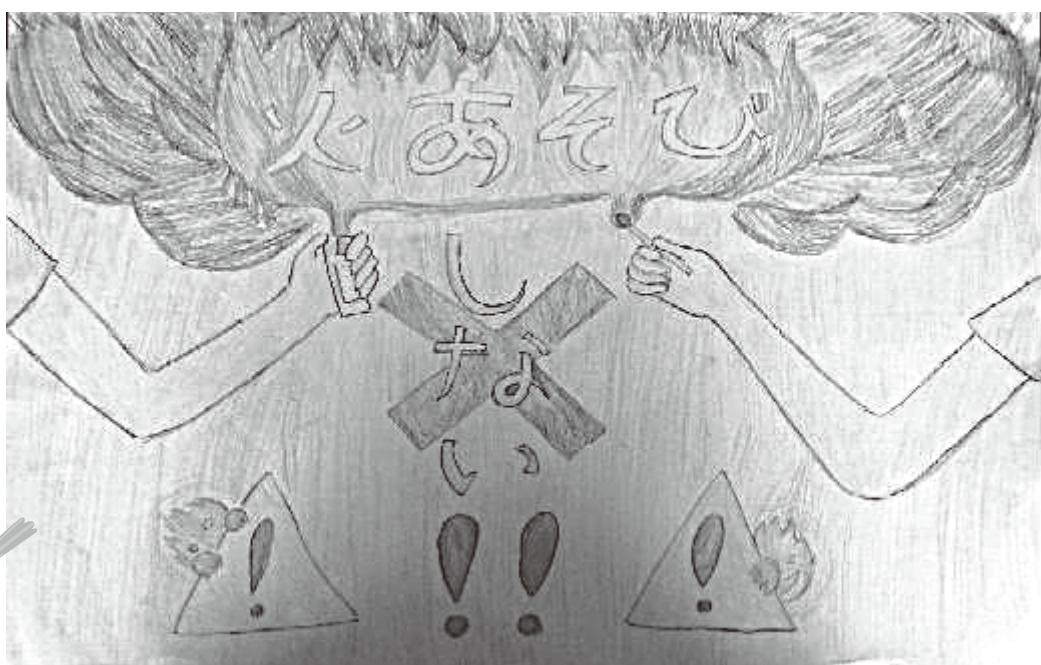
令和元年の状況
(6月末現在)

火災件数 0件

救急出動回数 67件

子供の火遊びによる火災防止の5つのポイント！！

- 1 子供だけを残して外出しないようにする
- 2 ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない
- 3 子供だけで火を取り扱わせない
- 4 火遊びをしているのを見かけたら注意する
- 5 火災の恐ろしさ・火の取扱いについて教育する



2018年北海道「防火・防災」作品コンクール応募作品/勝元麻雪さん作